

# 第5回定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

## 株主資本等変動計算書 個別注記表

(2020年1月1日から2020年12月31日まで)

### 株式会社スタメン

「株主資本等変動計算書」「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、当社ホームページに掲載することにより株主の皆様提供しております。

## 株主資本等変動計算書 (2020年1月1日から2020年12月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	純資産 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	202,500	142,500	142,500	△273,317	△273,317	71,682	71,682
当期変動額							
新株の発行	404,800	404,800	404,800			809,600	809,600
当期純利益				4,212	4,212	4,212	4,212
当期変動額合計	404,800	404,800	404,800	4,212	4,212	813,812	813,812
当期末残高	607,300	547,300	547,300	△269,105	△269,105	885,494	885,494

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

定率法によっております。ただし、建物及び構築物については定額法によっております。なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	1年～3年
構築物	3年
工具器具備品	2年～6年

#### ② 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### (2) 繰延資産の処理方法

株式交付費 株式交付費は、発生時に全額費用処理しております。

### (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

## 2. 表示方法の変更に関する注記

### (貸借対照表)

前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「前払金」（当事業年度は、12,735千円）は金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より、流動資産の「その他」に含めて表示しております。

前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「差入保証金」（当事業年度は、59,647千円）は金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より、投資その他の資産の「その他」に含めて表示しております。

前事業年度まで区分掲記して表示しておりました「未払消費税等」（当事業年度は、23,704千円）は金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

## 3. 追加情報

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、一定期間続くものとして、会計上の見積り及び仮定の設定を検討しておりますが、現時点において重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多く、今後の状況の変化によっては、翌事業年度以降の計算書類において重要な影響を及ぼす可能性があります。

## 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 8,425,000株

### (2) 当事業年度の末日における新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く。）の目的となる株式の種類及び数

普通株式 274,000株

## 5. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### ① 金融商品に対する取り組み方針

当社は資金計画に基づき必要な資金は銀行借入及び新株の発行により調達しております。また、資産運用に関しては、短期的な預金等安全性の高い金融資産で運用することを基本としており、デリバティブ取引は行わない方針であります。

#### ② 金融商品の内容及びそのリスク

現金及び預金は、預入先の信用リスクに晒されております。営業債権である売掛金は顧客の信用リスクに晒されております。短期借入金、未払金、未払法人税等はそのほとんどが2か月以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。長期借入金は主に運転資金に係る資金調達を目的としたものであり、金利の変動リスクに晒されております。

#### ③ 金融商品に係るリスク管理体制

##### a. 信用リスクの管理

当社は、取引相手ごとに期日管理及び残高管理を行っております。

##### b. 流動性リスク

当社は、適時に資金繰り計画を作成するなどの方法により流動性リスクを管理しています。

##### c. 市場リスク

当社は、変動金利による借入金について、定期的に金利の動向を把握することにより、金利変動リスクを管理しております。

#### ④ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

### (2) 金融商品の時価に関する事項

2020年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

単位 (千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預金	1,291,490	1,291,490	-
売掛金	14,874	14,874	-
資産計	1,306,365	1,306,365	-
短期借入金	10,000	10,000	-
未払金	18,769	18,769	-
長期借入金 (1年以内返済予定の長期借入金を含む)	198,658	198,565	△92
負債計	227,427	227,335	△92

(注) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

#### ① 現金及び預金、並びに売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### ② 短期借入金、並びに未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### ③ 長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

## 6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
未払事業税	2,194千円
減価償却費	1,113
資産除去債務	1,313
繰越欠損金	78,182
繰延税金資産小計	82,803
繰越欠損金に係る評価性引当額	△76,363
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△2,320
評価性引当額小計	△78,683
繰延税金資産合計	4,119
繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	68
繰延税金負債合計	68
繰延税金資産の純額	4,051

## 7. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	105円10銭
(2) 1株当たり当期純利益	0円56銭

(注) 当社は、2020年9月14日開催の取締役会決議により、2020年9月30日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。